

## 週日の説教

金 大烈 神父 2009年12月26日(土)

### 《信仰の知恵》

主のご降誕おめでとうございます。

皆様に面白い話を二つ致しましょう。今日の福音(マタイ 10・17~22)の核心的なポイントは何でしょうか。『何をどう言おうかと心配してはならない。』と言うことでしたね。その「心配するな」という言葉を聞いて、私が黙想したことを皆様と分かち合いたいと思います。

皆様、10代の子どもの頃は何も心配することがなかったでしょうか？ あったでしょう！子どもの頃もやはり心配していましたよね。20代になってからはどうでしょう。その心配はなくなりましたか？ 30代になったらもっと心配することが多くなり、40代、50代・・・やっぱり心配はありますよね。結局この世を去るときまで心配することは尽きないのだと思います。しかし、イエス様は今日、『心配してはならない』とおっしゃっているのです。これはどういうことでしょうか。

あるところに、とても敏感な性格で、いつも心配そうな顔を皆に見せている人がいました。彼の隣にいる人までもが心配になって、彼を気にかけてしまうほどです。しかしある日、現れた彼の顔を見て、皆はびっくりしました。いつもの心配顔ではないのです。「君、何かあったの？」と尋ねました。すると彼はこう言いました。「毎日毎日、朝目が覚めて夜休む時まで心配ばかりしている自分がとうとう嫌になって、どうすれば良いかと考えたのです。そして、ついに良い方法を見つけましたよ！」皆が興味を持って、「その方法って何ですか？」と聞くと、こういうことでした。「一週間に10万円を払って、代わりに心配してくれる人を雇ったのです。その人が私に代わって心配してくれるので、私は心配しなくてよくなったのです！」しかし、その支払うお金はどこから得られるのでしょうか。それも尋ねると、彼は「その心配も全て彼に任せたのですよ！」と言ったのでした。これは一つの面白いお話です。このようなことがあり得るでしょうか。

もう一つの話をしてします。魚を獲る生業の村に、ある金持ちの商人がやって来ました。何か商売になるものはないかを見回していると、陽の当たる明るい場所に人々が集まって日光浴を楽しんでいる姿を見つけました。その商人が人々に近付いて話しかけました。「今日の仕事はもう終わったのですか？」彼らは「はい、終わりました」と答えます。「まだ陽はこんなに高く時間が充分あるのに魚はもう獲らないのですか？」彼らは「今日の分は充分獲りました」と答えます。「もっと獲ればもっとお金になるでしょう。そして儲ける事が出来るじゃないですか。」と商人が言うと、人々は笑いながら「そんなにお金を儲けてどうするのですか？」と聞き返しました。「儲ければ、今よりもっと大きな船を買うことが出来るし、もっとたくさんの魚を獲ることも出来る。そしてお金もたくさん手に入るでしょう。」と商人は言います。彼らはまた「その後何をしますか？」と尋ねました。商人は「沢山お金があれば、ゆっくり休むことができるでしょう。」と答えましたが、それを聞いていた年配の人が微笑みながら、「今、私達は何をしていると思いますか？」と尋ね返しました。

「あなたが頑張ってお金を儲けなさい、ということの目的を、私達は今、果たしているのですよ。のんびり今日の分は充分に獲って、今日のことを感謝しながら私達は楽しんでいます。」

たぶんその金持ちは、目的を達成するために死ぬまで毎日心配しながら、もっと何とかしなければ、もっと働かなければ、と思う人生なのでしょう。

これは一つの知恵だと私は思います。

お金を払って自分の代わりに心配してくれる人を探すことは面白い話として受け取れば良いと思いますが、このお話に出てくる漁村の人々のような知恵が、私達にも必要ではないでしょうか。この知恵がある意味で、私達が感謝する余裕ができるような知恵だと思います。

ありがとうございました。